

東京都退職校長会



会報

発行所 東京都退職校長会  
発行者 多田 丈夫

〒113-0034 文京区湯島4-12-3 日公連鈴木ビル5F  
電話 03-5814-5615

東京都退職校長会ホームページ <http://www15.ocn.ne.jp/~totaikou/>

さて、最近のY新聞で、ある識者が「平成の30年間は、歴史的な激動期の終焉と共に始まった」と語っていた。世界では平成元年の秋、ベルリンの壁が破壊され、翌年にドイツ統一が実現したことに代表されると日本にあつては「黄金の60年代」が終わり、従来のイデオロギー的な警戒心が解かれ、身構えることなく新時代を迎え、「次は何だ（ホワッツ・ネットワーク）」と結んだ。合点のいく論評。さて、会員の皆様にとつて「平成とは？」どんな時代だったの



東京都退職校長会 会長 多田 丈夫

時代の節目に考えたいこと  
——年々歳々花相似たり——

この改革の始動は、平成27年9月の、「業務改善・基金検討委員会」設置に遡る。省みて今、青年期に愛読した笠 信太郎の「ものの見方について」の一節を思い出した。「イギリス人は歩きながら考える」(ドイツ人は考えた後で歩き出す)「アメリカ人はまず歩いてから考える」と書かれた行に鉛筆をなめて太線を引いた記憶がある。笠氏は「日本人は自分で考えずに人に言われて歩き出す」と言っていた。これらの表現は、言い得て妙である。今、新たな会則

1. 季節が語る4月  
季節が巡り、桜狩りに出かける人が多い。ここ不忍の池の桜も見事に咲き誇っている。いつもの景色ながら平成の終わりを告げる節目の時、特別に緊張感が漂う4月に映る。また、「疾如風」(ときごとかぜのごとく)と風林火山の一節を披露し、会長を引き受けて、早4年の歳月が流れた。年々歳々とは言え、このころ喜びとも悲しさも味わっている。

か、と観桜しながら思ったのである。  
2. 「歩きながら考える」時  
過ぎ行く平成の時代、本会にとつて記憶に留めたい出来事が3つある。1つは、綱領の制定、2つに、会歌の制作、3つは、この度の会則の全面改正である。綱領と会歌は、創成の時は過ぎ、会員の心に深く根付いている。また、新しい会則の施行は、本会にとつて「次は何だ(ホワッツ・ネットワーク)」を意味し、これから歩みを占う象徴的な出来事と言える。

の定着を揺るぎないものにするために、結束して「歩きながら考え」全員加入への一本道を力強く進みたいと思っている。  
3. この頃、困惑していること  
時代の様変わりには驚いている。その一つ、今や小学生の半数以上、中学生の6割超がスマホや携帯電話を所持とのニュースに困惑する。学校への持ち込みの是非も論じられている。「紙屑籠にゴミを捨てるように、何もかも教育のせいにはされないようにしたいもの」と思うこの頃である。

主な記事

|                         |                     |
|-------------------------|---------------------|
| P1 巻頭言                  | P7 入会のお誘い・各部だより     |
| P2 第66回定期総会案内           | P10 副会長 苗村崇倫先生を悼む   |
| P3 教育庁幹部との懇談会           | P11 支部だより           |
| P4 平成31年度『第1回会員研修会』のご案内 | P12 地方会員の声          |
| P5 会員増強プロジェクトチームの報告     | P13 高齢者叙勲受章会員トピックス  |
| P6 「第2回外部人材活用連絡会」報告     | P14 クラブ紹介           |
|                         | P15 湯島の動静           |
|                         | P16 物故者・応募コーナー・編集後記 |

# 平成三十一年度 第六十六回 定期総会案内

第六十六回定期総会を左記のとおり開催します。

『活動に参加し心を通わせ』

絆を強めよう』

各支部の役員及び会員多数のご出席を期待します。

○開催日 五月十三日(月)

・受付 一一・三〇

・定期総会 一二・三〇

・会員研修会 一四・二〇

・懇親会 一五・三〇

○会場 東京ガーデンパレス

・JR御茶ノ水駅下車(聖橋口)

・電話 三八一三一六二二一

○懇親会費 七千円

『長寿・荣誉・功労会員』  
へのご案内

案内状は郵送にてお届けします。総会の席でお祝いと感謝の意を表します。

万障お繰り合わせの上、ご出席を、願います。

## 総会・懇親会出席申込方法

○総会のみ参加は、会費不要。

○懇親会への参加は、四月二十六日(金)までに、支部長に連絡し、会費は支部長に直接払い込んでください。

○支部長は、懇親会費を支部で一括して、五月八日(水)までに「払い込み取扱票」で、事務局宛にお振り込みください。

○支部に所属していない地方等の会員の方は四月二十六日(金)までに直接事務局までご連絡ください。

(☎)〇三ー五八一四ー五六二五

○懇親会費を払い込んだ後に、やむをえず、取消されるとき、五月十日(金)までにご連絡いただいた場合は全額お返ししません。

## 定期総会案内図

### 東京カーテンパレス

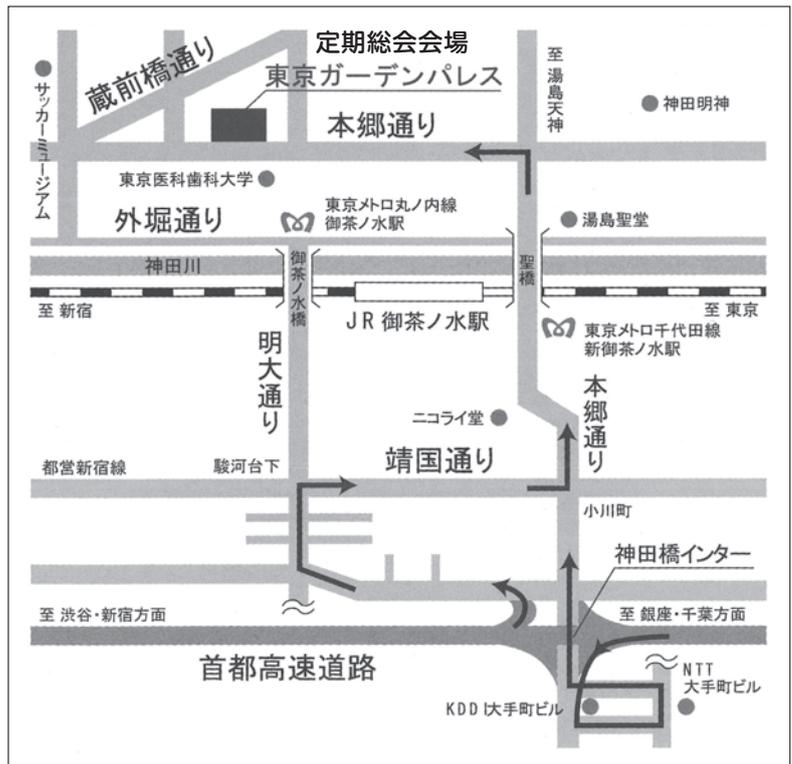
〒113-0034 東京都文京区湯島1-7-5  
TEL 03-3813-6211 代表

【電車でお越しの場合】

- JR 中央線・総武線「御茶ノ水駅」  
聖橋口(東京駅寄りの改札)より徒歩5分
- 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」より徒歩5分
- 東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水駅」より徒歩5分
- 東京メトロ銀座線「末広町駅」より徒歩8分

【自動車でお越しの場合】

- 渋谷・新宿方面からお越しの場合  
神田橋インターから本郷通りに直接出られませんので、矢印に従って本郷通りへ出てください。
- 銀座・千葉方面からお越しの場合  
神田橋インターの出口から本郷通り聖橋方面へ直接出られませんので、矢印に従って迂回し本郷通り聖橋方面へ進んでください。



# 「東京都教育庁幹部との懇談会」

## ―未来の創り手の育成に向けて―

開催日 平成三十一年二月五日（火）  
 会場 都庁第一本庁舎教育委員会室

恒例の東京都教育委員会と東京都退職校長会との懇談会が去る二月五日（火）午前10時半より都庁第一庁舎の教育委員会室で開催された。

冒頭、黒田則明人事企画担当部長より、日頃の本会の協力体制、委託事業である人材バンク事業の実施について賛意と激励をいただいた。続いて本会を代表して多田丈夫会長から懇談会開催のお礼と都のご指導ご支援に感謝の意を伝えた。出席者の紹介があった後、予めお願いしてあった質問事項を具体的に説明した。これに応え、指導部、総務部、人事部から具体的資料を元に担当課長から丁寧なご説明と回答をいただいた。席上東京都の叙勲受章者の増員について本会としての要望も申し上げ

た。最後に本会の綱領の一つの「国際都市東京の教育の振興に寄与する」を紹介すると共に、今後とも、伸び行く退職校長会を目指し、都教委との信頼関係を強めていきたいとの謝辞を述べた。

### 一、新学習指導要領の改訂に伴う現在の進捗状況について

指導部主任指導主事（教育経営・教育課程担当） 海老江直子氏

・2020年から小学校・中学校、高等学校、特別支援学校の順に新学習指導要領が全面实施となるが、指導内容の移行がない場合は積極的に新学習指導要領による取り組みができるようにする。

特に、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」をバ

ランスよく育成することを目指す新学習指導要領の趣旨を十分に踏まえて指導する。

・新学習指導要領への円滑な移行ができるよう内容を一部加える等の特例を設ける。

### 二、東京オリンピック・パラリンピックに向けての教育施策について

指導部指導企画課オリンピックパラリンピック教育推進担当課長 河野浩二氏

オリンピック・パラリンピック教育のレガシーの構築に向けた取り組みを推進する。

・子ども達一人一人の心と体に残る掛け替えのないレガシー。  
 ・東京五輪を契機とし学校における取り組みを計画的・継続的に長く続く教育活動として発展させる。

・家庭や地域を巻き込んだ取り組みにより、共生・共助社会を形成し、日本人としての自覚と誇り、豊かな国際感覚を目指す。

### 三、小学校の「プログラミング教育」に向けた具体的な取り組みについて

指導部主任指導主事（情報教育担当） 田中康雄氏

・全小学校で2020年より必須化。

・何をしたら、どのようになったか等の疑問があり、指導事例、指導計画のモデルを用意した。

・32年度は、各小学校で自主的に行う。地域の教育委員会と共に課題をきめ、推進校を基本モデルにして進めていく。教育委員会が共に進めることで、より充実させられる。

・32年度は困難校への指導案を示していきたい。課題として、中学校では、小中の連携が必要。

### 四、「学校における働き方改革」に係る東京都の具体的な施策について

総務部企画担当課長 光永功嗣氏

・これまで在校時間の把握と意識改革、教員業務の見直しと改

善、学校を支える人員体制の確保等々総合的に対策を推進してきた。

・ 今後は、長時間労働となつて  
いる教員に対する管理職の必要な指導、助言の実施・出退勤管理システムの導入支援、スクー  
ルサポートスタッフや部活動指導員の拡充、副校長の業務を補  
佐する人材の配置、負担の大きい校務を担う教員の授業時数の  
軽減、学校をきめ細かく支援する多角的支援機関の設立等の取  
り組みを推進していく。

五、東京都における〈総合教育会議〉について

総務部教育政策担当課長 児玉大祐氏  
・ 法改正に伴い、平成27年より「東京都教育施策大綱」の策定。  
・ 教育の諸条件の整備、地域の  
実情に応じた教育・学術・文化の振興を重点的に講ずる施策。  
・ 平成30年8月これからの時代に  
に必要なAI時代を生きるための「読解力」を育てるをテーマ

に論議。

・ 平成30年12月高齢者人材（地域高齢者・学校OB）を教育に活かすをテーマに開催。

六、学校の管理職の人材確保と今後の取り組みについて

人事部教職員任用担当課長 相川隆史氏  
人事部勤労課長 秋田一樹氏  
・ 若い主任層を積極的に育成し  
学校運営への参画を促す。管理職への成り手急減対策として  
一、選考制度  
・ 平成29年から選考対象を主幹  
と主任としたが、まだ不足している。

二、業務負担の軽減

・ 12校のモデル校で副校長の負担が減っている。今年度は12校に増やし都立高校でも行う予定。  
三、待遇改善

・ 平成18年より統括校長制度が開始。今後、副校長も検討する。  
・ 女性管理職増にも取り組んでいる。  
以上

（文責 伊地敦子）

平成31年度『第1回会員研修会』のご案内

東京都退職校長会 生涯学習部

平成31年度『第1回会員研修会』を下記の要項で実施いたします。  
多数のご参加をお待ちしています。

- ◎ 期 日 平成31年5月13日（月）
- ◎ 時 間 午後2時20分～3時15分（総会終了後）
- ◎ 会 場 東京ガーデンパレス

生き生き人生を目指して 一歌の世界 その喜び一

- 研修内容
- ① 本会の会歌を作曲された時の思いや願い等
  - ② 音楽全般について
  - ③ 一緒に歌いましょう

講師 会歌作曲者 宮下 洋先生

多くの先生方の、また私たち生涯学習部の長年の夢でした。  
本会の会歌を作曲された宮下洋先生を講師にお招きしての研修会が実現いたします。  
素晴らしい研修会になると思います。大勢のご参加をお待ちしています。

# 渦中の新会員勧誘の活発化！

## —さらなる入会促進を—

会員増強プロジェクトチーム 桐谷 澄男

平成最後の入会勧誘年です。新元号発表日と本号発行日も限りなく近い四月に入りました。

私共は、新元号のご威光を頂戴したく、是非とも新会員の加入を右肩上がりにしたいものと強く念願しております。思えば、平成は右肩下がりの時代でした。

今まさに、各支部こぞつての工夫に工夫を重ねた入会促進活動に拍車がかかっている最中かと存じます。頭の下がる思いでいっぱいでございます。

### 一 本部と支部の一体的対応

一点目、会則変更の確認です。

本部会則第五条と第六条の改正についてです。

第五条「：準会員とする。」は、「：準会員とすることが出来る。」です。正式決定以降もよろしくお願致します。

第六条「：居住する地域又は勤務した地域のいずれかの支部に所属する。」に変わりました。

この場合、支部の規約を変更する必要があるのでどうか点検をお願いいたします。

また、第六条に関して支部の規約を変えないと、勧誘できないという場合があります。

以上確認です。  
二点目、勧誘資料の件です。

本部からは、定年退職の方や再任用五年終了等の校長先生方に、勧誘資料を直接お届けしております。以下はその資料です。

・「入会申込書」

・「東京都退職校長会」への入会のお願い」

・「東京都退職校長会とは」

・「東京都退職校長会『会報』」

・リーフレット「東京都退職校長会」

・平成三〇年度東京都退職校長会の概要」

以上、六種類の資料です。

これも、本部と支部の一体化した一連の流れの中にあるものと捉えて頂きたいと存じます。

### 二 現職校長会との接続強化

さらに、「プロジェクト・チーム」では、現職の校長先生方に退職校長会のことを、もつともつと知って頂きたいと思いました。そのため周知・理解活動を図る必要があると考えたのです。そこで都現職校長会役員会に説明させて頂きました。

定年退職の校長先生だけでなく、ご出席の都幹事の校長先生方にも知って頂く機会もありました。支部によっては、地区の校長会長先生と会食する機会及び懇談会や新年会等にご招待をしている例

があります。いろいろと勧誘がらみでご腐心されておられるのがよく伺えるのです。

これらは、現職校長会との繋がりを生かすことが大切になっていくことを意味しています。

人生百年時代といわれますと、退職後の生活の意味と過ごし方が改めて問われて参ります。

大切な「最後の私の人生」を退職校長会で発見・実践して頂ければと切に念じるものです。

### 三 支部の勧誘組織確立の例

支部長さんを中心に、支部の勧誘活動に叶った方法で取り組んでおられる例も散見されます。

支部の人的構成の都合などで、いろいろと手いっぱいという支部もございましょう。

手いっぱいの中、もし可能ならということでも申し上げれば、支部長さんを中心としつつも、新会員勧誘という喫緊の重要性に鑑み、このための組織体制(例：組織部)づくりは如何でしょう。

「幼小・中・高支援」の三つの各担当が揃えば、勧誘活動が機動的になることでしょう。

### 四 具体的アプローチの例

従来の支部長会等でお話し合いされてきた具体的なアプローチ例などを、ここに記したいと思えます。

・「都退職校長会とは：」（会全体について）の紹介）や「支部退職校長会とは：」の配布

・勧誘文に支部役員一同名を掲載。

同時に一括コメント付き  
・本部会報や支部会報の配布  
・本人を知っている会員からの勧誘(それも直接会って・電話で・メールで・手紙でなど)が大変ベターであるといわれています。

・学校へ直接行って勧誘する。  
・ハガキ・手紙等での投函あるいは手渡しで勧誘

・勤務最終年度に、ご労苦に感謝する年賀状を出す。

・再任用中に毎年年賀状を出す。  
・食事会・会食会、さらには懇親会の設定、そうした中での交流・勧誘のきっかけづくり

・退職慰労会の実施(設定はこちらで)できつかけづくり

・地区校長会長を退職校長会の新年会に招待

・可能なら新加入即役員へ  
・実際にはもつとよい方法を編み出し、多くの用意等をして勧誘していることでしょう。

### 五 今後の課題

・会員増強に向け、昭和七年の本会創立当時や戦後再興の先輩等の想いを継承するとともに、本会並びに各支部の更なる発展と充実を期すること。

・可能な限り支部内の「組織部」(仮称)体制の確立

・再任用の方への対処と対応  
・五年で退職するとは限らない。  
・未加入者への対応  
・諦めどきの見極め

平成三〇年度  
「第二回 外部人材活用連絡会」  
「都受託事業「人材バンク」運営特別委員会報告」

本年度、第二回外部人材活用連絡会が一月二十三日(水)都教職員研修センターで開催された。

今回の特徴は、「アドバイザーの活動の実際」を踏まえて、地区別協議で討議することである。

この流れは極めて重要で、アドバイザーの活動での立案を共有する様々な実例がある。

### 1. アドバイザー活動の実際

《区部アドバイザー加藤紀美子氏(北区)の活動の実際》

#### ○平成29年度の活動

- ・(1)区教委への表敬訪問
- ・(2)小中学校長会、副校長会への広報活動
- ・(3)新任副校長への広報活動
- ・(4)区教委訪問とお礼

#### ○課題

- ・人材バンク事業の広報が、未だ不十分である。
- ・区における人材バンク活用校が少ない現状がある。

・区で配置されている講師で十分との学校の見解がある。

#### ○平成30年度の活動

今年度の改善点

- ・具体的な活用例の説明(普及広報活動においては、人材バンクニュースを活用し実践例をアピールした。)
- ・普及広報活動のキーワード(校内の指導者同士の隙間を埋める存在として、または、専門性のある指導者の要請として、人材バンク事業を活用



してほしいと伝える。)

・申請の仕方を具体的に説明

(窓口は東京都教職員互助会人材バンク事務局)

・区内活用状況の把握

#### ○課題

- ・区の講師謝礼と都人材バンク事業無償との兼ね合いが難しい。
- ・複数人の配置を希望しているが難しい。
- ・昨年度と同一ボランティアを希望したが難しい。

《市部アドバイザー伊東正典氏(西多摩・羽村市)活動の実際》

#### ○担当する地区の様子

- ・奥多摩町、檜原村、日の出町、瑞穂町は、山間部であり、地域が広く自宅から20km離れている教委、学校もある。
- ・羽村市は、自宅から近く活動はやりやすい。

#### ○成果

- ・各教委では、「人材バンク事業」をよく知っており、対応がやりやすかった。

・日の出町のH中学校では、人材バンクから学生ボランティアを過去二年間活用していた。

・校長会長校、副校長会長校の学校を訪問し普及広報活動を行うことができた。

・檜原村放課後学習教室に、人材バンクから支援員を採用してもらうことができた。

#### ○課題

- ・各地区とも人手は必要と感じているが、地理的状況から、活用までは至っていない。
- ・人材バンクの登録者で、西多摩郡を希望する人がいない。

#### 2. 地区別協議

協議は区部と市部を組み合わせて4グループに分かれて協議した。その結果、人材バンクに対する考察、委託事業の工夫、今後の事業展開において、アドバイザーと事業に関わる関係者の共通理解が得られた。グループ討議は有意義であった。

(文責 林 忠義)

# 退職後、未加入の方へ 入会のお誘い

総務部長 林 和明

私ども東京都退職校長会は、綱領に「新しい時代を見据えた国際都市東京の教育の振興に寄与する」

「会員の親睦を深め、互助の充実に努め、生涯学習を推進し生き甲斐づくりに貢献する」等と宣言している。

会歌には、「子らの幸せ願いつつ親しく手を取り集うとき：楽しく集い和を広げ心通わせ絆を深め苦楽を共に磨き合う」とある。

活動の一環として、「教育庁人材バンク事業の運営に伴う相談・普及広報業務」のアドバイザーとして、学校がより教育活動に専念できる環境をつくり教育内容の充実・向上を図っている。

平成二十九年年度までは「採用前実践的指導力養成講座」で新

規採用予定者への直前研修に講師としてかわわり、受講者の実践的指導力の向上に資していた。

又、同好の仲間が集うクラブ活動として、絵画・写真・囲碁・ソフトテニス・園芸・釣り・短歌等があり、お互い楽しみながら研鑽を高めている。支部によつては、ゴルフ・卓球等を実施しているところもある。

現在居住している支部の他に勤務地における入会もできるようになった。

加入には申し込み用紙を、「事務局」へFAXで送るか、直接「支部長」に送っていただいても結構ですと伝えている。

事務局のFAXは  
03-5814-5615



# 各部だより

## 総務部の活動この一年

### 「会員増強」を第一に

総務部長 林 和明

総務部の仕事は、多岐にわたっている。年4回の支部長会をはじめ、評議員会・理事会等の円滑な運営に努める中で最も重要な目的の一つが「会員増強」である。

そのため支部長を中心に会員獲得のご努力をお願いしている。支部長会では会員募集の諸資料を提供し、支部会員の皆さんに会員増強のためにお渡しするようになっている。

本部に「校種別の会員増強プロジェクトチーム」を作り現職の校長先生方に本会を理解していただくため、次のような啓発活動をしている。

①東京都退職校長会の存在を周知すること

②会則の紹介と周知すること  
③魅力ある活動を紹介すること  
以上を実践し総務部はその事務局を受けている。

年末には、今年度末退職する校長先生方に年賀状の発送等を取り組みを行い、本会の活動情報を提供し、入会促進に努めている。

昨年度は総会のほかに、全国連合退職校長会・関東甲信越地区東京大会が催され各部各係と連携を密にし、円滑な会の運営に努めた。



## 企画調整部の活動

企画調整部長 伊地敦子

企画調整部は誕生間もない部であるが、その名が担っている調整の仕事が少しでもうまくいくよう部員一同、力を合わせて努めていきたい。

### 今年の活動

一・東京都教育委員会との委託事業が円滑に推進できるよう関係委員会への協力・連絡・調整を行った。

6/1 第一回外部人材活用連絡会  
 ・人材バンク事業の趣旨説明  
 ・人材バンク アドバイザーの活動方法

・人材バンク運営特別委員会が実施計画を練り、都教育庁人事課と綿密な打ち合わせを重ねて実施を迎えた。

7/29 第一回登録者対象研修会  
 講話「発達段階に応じた児童生徒への接し方」

・講話内容は、登録者に深い感銘を与え、この研修会に参加できた喜びが聞かれた。

10/3 第二回登録者対象講演会  
 演題「特別支援教育の現状」

講師 元東京都心身障害教育指導課長

宮本紀夫先生

・長い間心身障害教育に携わった講師の話は胸にのこるものがあった。

1/23 第二回外部人材活用連絡会  
 ・一回目と同様、全都のアドバイザーが全員参加。本年度のアドバイザー活動を終えて意見・感想・協議。

実践発表者(北区)加藤紀美子氏  
 (西多摩市)伊藤正典氏

・この会の特徴は、アドバイザーの活動の実際について二名の方が具体的に報告されたことである。

二・「五団体との教育懇談会」

・今年度は、8月25日(土)本会事務局会議室で開催。

・公立幼稚園、子ども園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校が、それぞれに抱える教育課題を発表、質疑応答、情報交換が行われた。(詳しくは会報を通じて会員の皆様に)

三・都教育庁幹部との懇談会

・新しい教育界の動きについて担当課長から丁寧な説明と質問に対する回答をいただいた。

## 会計部の活動

会計部長(副会長) 小久保正己

本年度の会計部は部長の他六人の理事で構成されており、男性三人、女性三人である。いずれも支部の業務等を抱えており、部長の引き受け手がない。なお、会計業務に精通している事務局になにかと会計部を応援していただいている。

会計部の仕事が見えるのは、年四回の支部長会や評議員会等で受付業務を担当して、交通費等の支払いをしている場面である。このため、担当する理事は細かい金種を用意するため事前に銀行や信用金庫などに足を運ぶ。こうした仕事は各支部においても同様に行われて様々な活動を下支えしていると思われる。本部の理事になる時、会計部を希望する人はほとんどいないのが現状である。

小生も定年退職の時、会計のパソコン処理を手伝ってほしいといわれて何もわからずに本部会計部員になったのである。当

時は会員が五千名近くいたから、予算執行で苦労することもなく、積立基本金も自然に増えていくものと考えられていた。ところが入会者が少なく会員がじわじわと減少し始め、予算案を立てる時に翌年の会員数の見通しを立てても大きく狂うようになってきたのである。

このため、予算の節約と会員増強が叫ばれ、毎年度精力的に取り組んできたのであるが、会員減少になかなか歯止めがかからなかった。

このたびの抜本的な改革により、会員数を盛り返すまで、予算の有効活用を図り、活動を魅力あるものにするため、本部支部の組織を挙げて全力で取り組んでいかなければならない。

会計部として日常業務をしっかりと行い、改革の一翼を担い、本部としての役割を果たしていきたい。そして支部活動にも自ら積極的に参加して、未加入者にも働きかけながら、楽しく意義のある活動を作り上げていきたい。

## 会報部の1年

会報部長 梅津通郎

(1)平成30年4月2日、200号発行200号記念特集、半世紀を超える歴史を記録。7回に亘る題字の変遷も面白い。

三人の歴代会長の言葉もあります。「魅力ある紙面の創造に懸命、『校正畏るべし』だけに神経を使う会報編集」(三代前の太田秀会長)、「会報を読むと組織に対する所属意識が高まり、会員としてのモチベーションアップになっていると感じています」(片岡敦子前会長)、「多くの関係者に的確な情報を提供しながら、『求められ、愛される会報誌』を」(多田丈夫現会長)等、嬉しい激励を感じさせてくれました。

## (2)会報の新しい装い

平成30年7月発行号より経費削減に伴い装いを新たにしました。

年四回の発行数は堅持するも、ページ数減(従来の16ページ立てを2回、8ページ立てを2回)、インク(薄紫から黒へ)の変更、紙の質を落とす、等経

費を節約する工夫に努めました。しかし、魅力ある会報を目指し編集の質は一層高めようと鋭意努力してきました。

## (3)平成30年10月18～19日

## 関プロ東京大会

10年に一度運営の役割が回ってくるこの大会は準備も一年前からありましたが、会報部も準備段階から運営に参加しました。大会二日間は記録係として部員が分担し、詳細な臨場感あふれる記録簿を作成しました。大会後は、会報への報告と共に「関プロ地区情報」の編集という厳しい作業にも当たりました。

## (4)苗村崇徳副会長の急逝

平成31年1月6日、苗村さんが急逝されました。会報部を担当する副会長として私どもを指導してきました。教育委員会との折衝をはじめ難しい渉外に当たるのも苗村さんの仕事でした。神経を使う編集作業で疲れ切った部員を温厚な性格で和ませてもらいました。この一年病氣と闘いながらも編集会議に足を運んでくれていたのです。この一年、苗村さんの急逝は会報部最大の出来事だったのです。

## 「いきいき人生を目指して」生涯学習部の活動を通して

生涯学習部長 齊藤徳蔵

生涯学習部の主な活動は

## ①年二回の会員研修会の企画・運営実施

②クラブ活動の充実・活性化の支援の二点です。

第一回会員研修会は五月十四日(月)定期総会の後に実施しました。早稲田大学演劇博物館解説員、中野支部長 緒方良子先生を講師にお招きしました。

「生きる喜びを実践し合う中で」をテーマに日本における博物館の機能の変遷について七つの例をあげてご講演されました。格調の高い講演会でした。

ただ総会の時間が超過し講演の時間が短くなってしまったこととは反省点です。詳細は会報二〇一号に掲載。

第二回会員研修会は十一月二十二日(木)に、二つの研修会を行いました。最初は荒川シルバー大学相談員、園芸クラブ

所属稲川君江先生を講師にお願いして、園芸クラブの先生方と一緒に「苔玉作り」をご指導いただきました。次に東大和市介護予防リーダー、北多摩西支部

鶴巻武先生に「指の体操と認知症予防」について講演と、指の体操をご指導いただきました。

「苔玉作り」は全員真剣に取り組み立派な作品を仕上げ満足そうでした。また、「指の体操と認知症予防」でも先生の巧みなお話と楽しい指の体操に、参加者が生き生き人生の源を感じたように思えました。詳細は会報二〇三号に掲載。

本年度も九月、二月にクラブ委員長会を実施しました。各クラブ、委員長さんを中心に大変充実したクラブ活動を運営されています。ただ、高齢化等による部員の減少でクラブ活動の存続の危機等の話ができました。各クラブにあった工夫を行うと共に、今後全体の課題として検討していくことにしました。

## 「会員のつながり」

## 福利厚生部の活動

福利厚生部長 増田 稔

福利厚生部は、主に次の4項目の事業に取り組んでいます。

○会員の親睦と互助に関すること

新年祝賀懇親会（毎年百名をこえる参加者）や定期総会後の懇親会の運営を通して、会員の皆様方のさらなる親睦を図ってきました。

この活動にあたっては、監事・参与・各支部長・支部会員の皆様方のご協力とご尽力のお蔭で、毎回盛会で親睦を深めています。厚く御礼申し上げます。

○会員の慶弔に関すること

長寿を迎えられた方々に寿詞とささやかなお祝いの品をお渡ししています。

長寿会員の方々の正確な調査は、各支部長の方々のお力なくしてはできません。お力添えあがりありがとうございました。

また、物故会員の皆様への香典等を当該支部長の皆様に発送しています。（原則として、毎月第一火曜日にその事務を行っています。）

○叙勲に関すること

春・秋の叙勲および高齢者叙勲の受章者を調査し、会報でお知らせしています。

ただし、高齢者叙勲を受章された方は、各支部より報告のあった方のみ会報に記載することになっています。高齢者叙勲を受章された方は、必ず当該支部長へ連絡をお願いします。

※以上3項目の活動につきましては各支部長・支部会員のお力添えを得て、正確な情報、記載に部員一同努めているところです。

○年金に関すること

毎年、退職公務員連盟との合同研修会等で、社会保障制度（年金・医療・介護等）について学んでいます。有益な情報等は会報でお知らせします。

## 副会長 苗村崇伶先生を悼む

江東支部長 森 俊一郎

苗村崇伶先生は、二年前前の奥様を亡くされ、その悲しみの癒えぬうちにご自身に癌が発覚しました。入退院を繰り返しながら治療に専念しておられましたが、薬石効無く、平成三十一年一月六日、七十六歳でご逝去されました。心よりお悔やみ申し上げます。

先生は、教職を志し東京学芸大学数学科に学ばれました。そして、昭和四十年に教員として江戸川区立平井西小学校に第一歩を踏み出しました。そこで初めて担任した児童の同級会が今でも続いているのが誇りでした。その後、新宿区一校、江東区二校を経験されました。その間、大学時代に鍛えた卓球で仲間の先頭に立たれたり、算数や特別活動では指導力を高めたり、実績を積み上げられました。その甲斐あって教頭に昇任し、千代田区二校、江東区一校で、校長

の補佐に力を振るわれました。平成七年晴れて校長に昇進して江東区立第五砂町小学校長、次に豊洲小学校長・幼稚園長を歴任されました。そこでは、心身障害児理解教育や生活指導に重点を置いて学校経営を推進されました。また、区教育研究会特別活動部長、同副会長に推され指導性を発揮されました。そして、平成十五年に定年退職されました。退職後は長らく就学相談を務めておられました。

また、本会江東支部においても熱心さが認められ、都理事に任命されました。以後都理事一筋で通されました。会報や人材バンクに深く関わられ、数年前に副会長に推挙されました。持ち前の穏やかさ、真面目さで任務を遂行中でありました。最後に、先生の本会へのご尽力に感謝申し上げ、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

# 支部だより

## 台東支部のこと

台東支部長 老川秀夫

東京都退職校長会の会報部から「台東支部の様子」を書いてほしいとの連絡がありました。台東支部について全く分からなまま支部長を引き受けてしまったというのが、私の実感です。

支部長として、村山忠幸先生と話し合い、「支部だより」を出してみましたという事になりました。過去に「支部だより」を発行したことはあるようなのですが、はっきりしないというのが実情でした。

そこで、台東支部が新たなスタートをしていくのだという意味をこめて、平成三十一年一月に発行した「支部だより」を第一号としました。

この発行の目的の一つは、平成三十年の一年間に会員四人の訃報を把握したからです。そこで、支部会員の皆さんに連絡をしなければならぬと思い、発

行致しました。

これからは台東支部も会員の方々との交流を一層深めていきたいと考えています。

次に、今回発行した台東支部だより第一号の一部を抜粋してご紹介致します。

### 一・追悼

○竹村富士子先生が平成三十年三月に逝去され、支部長として葬儀に参列致しました。

○増田昭先生が平成二十六年に逝去されていたと聞き、都台区の退職校長会の香典と、私の気持ちを届けました。

○嵯峨悦子先生が平成三十年十月十日に逝去されていたと連絡を受けました。ご家族が支部長宅においでくださり香典をお渡ししました。

### 二・トピック（学習の時間）

赤とんぼの前羽と後ろ羽は、同じ大きさなので、とんぼは水平にとびます。蝶は前羽が大きく後ろ羽が小さいので、蝶は高く飛んだり低く飛んだりできます。

## 活動を通して

### 絆を深める支部に

渋谷副支部長 池田 忍

渋谷支部では「会員の親睦と絆」をモットーに活動している。

### ①講演会の実施

毎年、総会時に渋谷区教育委員会教育長に区の教育行政について講演をお願いしている。今年度は豊岡弘敏先生に「新学習指導要領移行開始」の実施状況や課題などについて講演をしていただき学校教育の最新の情報を得るように努めている。

### ②会員相互の交流

八月の暑気払いや新入会員交流会の他に、十一月には区の施設がある箱根で宿泊研修を行っている。夜はカラオケを存分に楽しみ、その後は部屋で教育談義に盛り上がることも多い。楽しい中に相互の絆を深め教師として磨き合っている。

### ③実技研修会・見学会の実施

渋谷支部の会員の中には、特技をお持ちの方も多し。昨年度は府川次男先生を講師に「和装

本制作」の実技研修会を実施した。今年度は十二月に渋谷区歴史探訪として伊野泰一先生を講師に、国の重要文化財「旧朝倉家住宅」などを巡った。回遊式庭園は紅葉の名勝であり今年最後の紅葉を堪能した。

### ④ボランティア活動

渋谷区の子供科学センター「ハチラボ」や社会教育館などで科学教室の指導、支援活動を行っている。今後も教師の経験を生かし学校や地域の教育活動に関わっていくことができるように研鑽に励んでいきたい。



旧 朝倉家住宅 庭園

活発な支部活動

神奈川県支部長 安藤正明

神奈川県支部（通称さがみ会）は、本年一月現在で、二百七名の会員数となりました。最盛期と比べて半数近くになってしまいました。活動は今でも活発に進められています。

支部全体としては、五月に行われる総会・懇親会、一日研修親睦旅行、作品展、新年会等、県内全会員にお知らせして行われます。

次に、県内を川崎・横浜・湘南・県央の四つの地区に分け、地区毎での特色ある活動を年二回ずつ行っています。例えば、地区の懇談会、勉強会、お話を聞く会と昼食交流会、地区内の見学研修会等いろいろあります。

また、支部で活発なのは、クラブ活動です。現在クラブは、写真、歴史探訪、俳句、ウォーキング、書道、ゴルフの六つとそれに同好会としての文学散歩の会が活動しています。



大谷町の平和観音像

なお、これらの中でも人気のある活動が、日帰り研修親睦旅行です。昨年度は宇都宮市の大谷町へ行って、大谷石の採石場や大谷寺及び平和観音像（写真）を参観してきました。その大きさにびっくりしましたが、新しいことを学習し、よい研修ができたこと、皆満足して帰りました。

しかし、わが支部では、いろいろな課題に直面しています。その一つに、会員数の減少と会員の高齢化の問題があります。そこで、一昨年度より都本部で会員を増やすための規約改正を検討しましたが、我々も、その動きを注視しています。

地方会員の声

故郷「八丈」のために

東京都八丈町 山本忠志

時代が変わり、社会がどのように変化しても、自然の営みは変わることはありません。

今年も、フリージアの香りとともに八丈島にも春が巡ってまいりました。

東京から南へ約三〇〇km。

八丈島は、台風のたびに天気予報に表示される絶海の孤島でかつては「鳥も通わぬ鬼ヶ島」と唄われましたが、豊かな自然と温かい人情に魅かれてか、多くのツーリストが来訪するようになりました。

伊豆・小笠原諸島の中では、唯一、全日空のジェット機が毎日三便就航。また船も毎日一便運航。

更に、ブロードバンド環境も充実しており、最近若者の移住定住とともに、冬になるとザトウクジラまで訪れるようになりました。

しかしながら、少子・高齢化

の波は避けようもなく、人手不足は都会と同じで、外国人労働者の姿も散見されるようになりました。

さて、母校の三原中学校長を退職して七年、地域に推されて八丈町議会議員として二期目を迎え、期せずして総務文教委員長に選任されました。

「教育環境の整備」という、今までとは違った側面からの教育へのアプローチ、これこそ我が生涯の使命と受け止め、地域貢献第二弾のステージへと歩みを進めているところです。



お詫びと訂正

203号に掲載の高齢者叙勲受章会員

亀山恵之介 (誤)



亀山恵之助 (正)

訂正してお詫び申し上げます。

高齢者叙勲受章会員

栄えのご受章お祝い申し上げます。計10名(敬称略)  
(平成31年3月7日まで本部に届けがあった方々)

- |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| 瑞宝双光章       | 岡田定雄 (品川)   | 岩切正睦 (北多摩北) |
| 立石昭人 (北多摩西) | 水越昭忠 (北多摩西) | 西野延男 (西多摩)  |
| 清水久四郎 (千葉中) | 齋藤文太郎 (千葉西) | 大石 稔 (千葉西)  |
| 倉上 保 (埼玉)   | 門川公雄 (地方)   |             |

トピックス

千葉西支部 会報32号(平成31年1月25日)より

研修報告

たのしい「落語を聴く会」

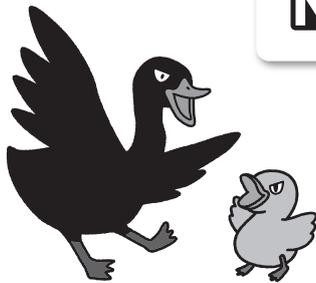
本年度、生涯学習部二回目の行事「落語を聴く会」は、平成30年10月30日(火)上野鈴木本演芸場昼の部で行った。参加者は17人、計画当初は数名しか集合しないのではと内心心配したが、大盛況だった。

近年は落語ブーム。せっかくの行事で立ち席の人が出ては困る。休・祝日以外なら大丈夫と事前に窓口で確かめていたが全員が着席するまで心配だった。しかし、前座が終わるころには200近くある座席はほぼ満席。都内には有名な演芸場は何か所かあるが、会場内で聴きながら飲食のできる会場はこの寄席だけ。係としては、これを逃すことはあるまいと、希望をとり近隣のデパ地下で飲み物、弁当を調達。しかし、周囲を見渡しても弁当を食べているのは我々だけのようだった。演目も「取り」に近づくにつれ内容は盛り上がり面白く、惹きこまれてしまった。4時30分に終了後、近くの居酒屋で1時間ほど喉を潤し解散した。

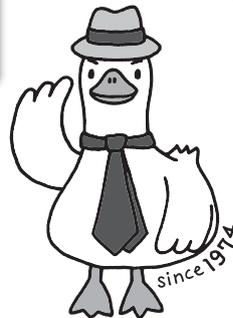
(阿部英幸)

新登場

No.1 アフラックはがん保険・医療保険契約件数 No.1  
平成28年版「インシュアランス生命保険統計号」



●契約年齢●  
0歳~  
満85歳  
まで



がんを含む  
病気や  
ケガの  
備えに

ちゃんと応える  
医療保険  
EVER

心配な  
「がん」の  
備えに

新 生きるための  
がん保険 Days

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)

三泉トラスト保険サービス株式会社

☎ 0120-357-212

FAX 03-3233-6754

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-11-1

◎商品およびサービスの詳細は「契約概要」等をご覧ください。

(引受保険会社)

「生きる」を創る。

Aflac

アフラック

東京第一法人営業部

〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1

新宿三井ビル19階

Tel.03-3344-1446 Fax.03-3348-0565

AF広宣課-2017-0005-1705004 1月16日

<同好の仲間と楽しく過ごしませんか>

# ◆◆◆ クラブ紹介 ◆◆◆

= 入会を歓迎します ご希望の方は委員長までご連絡ください =

## 囲碁クラブ

- 委員長 佐々木和廣 (電話：090-1999-9047)
- 会場 ナーベル (お茶の水)
- 大会 年2回 (6月、11月)
- 錬成会 毎月第1月曜日 (休日のときは次週) ナーベルお茶の水にて
- 会費 年間1,000円、参加費500円

## 写真クラブ(T・K・C)

- 委員長 甲野 恵美 (電話：03-3268-7476)
- 撮影会 年8回 (バス1泊撮影会1回を含む)
- 写真展 年2回 (なかのZEROで開催)
- 研究会 年1回講師による講評・自評会等 (作品研究と撮影技術研究)
- 懇親会 写真展のオープニング・パーティー
- 会費 年3,000円



## 園芸クラブ

- 委員長 天野 正忠 (電話：03-3752-3810)
- 会場 新宿区立環境学習情報センター (エコギャラリー新宿2階)他、見学地
- 活動 春と秋の年間2回の作品交換会  
園芸に関する施設の見学会  
栽培に関する懇親会や栽培実習の会
- 会合 年間5回
- 会費 年1,000円



## 釣りクラブ(千代田会釣り部)

- 委員長 町田 静隆 (電話：090-2915-8954)
- 釣り場 金沢八景、江ノ島、下田、浦安
- 釣り物 シロギス・アジ・イサキ・ワラサ・イナダ・アマダイ等
- 会合 年7回の釣り例会
- 特別会 年2回の1泊釣り会
- 釣り大会 年1回のアジ釣り大会
- 懇親会 研究・懇談会。新入会員歓迎釣り会
- 会報 年5回発行
- 会費 年2,500円



## 絵画クラブ(水墨みすみ会)

- 委員長 東條 康永 (電話：048-873-5727)
- 会場 南大塚地域創造館
- 会合 月1回 (8月は休み、春と秋に都内公園等でスケッチ会を実施)
- 学習内容 水墨画・基本技法の学習
- 方法 課題を設けて、作品に取り組む
- 作品展 毎年開催 (新宿エコギャラリー)
- 講師 なし (会員相互の連携による)
- 会費 年8,000円  
通信費 年2,000円 (通信会員)



## 短歌クラブ

- 委員長 岩井 昭 (電話：0422-32-2426)
- 会場 東京都退職校長会事務局 (地下鉄千代田線湯島駅下車徒歩5分)
- 会合 原則として、毎月第2金曜日 (8月を除く)
- 方法 短歌二首提出  
互評と講師による指導
- 講師 岡崎 洋次郎 先生
- 会費 月1,000円 (必要に応じ)

## ソフトテニスクラブ

- 委員長 石原容子 (電話：03-3788-3264)
- 会場 杉並区営松ノ木テニス①②コート  
① JR高円寺駅南口を出て右へ10m、永福町行きバスに乗車  
② 井ノ頭線永福町駅北口を出て井ノ頭通りを渡り左へ10m、高円寺駅行きバスに乗車  
①、②共に、途中の都立和田堀公園下車、北へ徒歩3分
- 練習日 月数回、練習可 (2か月前に通知)
- 練習 毎回ゲームを中心に行う
- 会費 年2回部内大会 (5・12月)  
3,000円 (年間)



湯島の動静

2月

- 4 福利厚生部会
- 5 都教育委員会との懇談会・正副会長会
- 6 人材バンク
- 12 生涯学習部会・クラブ委員長会
- 13 役員選考委員会・企画委員会
- 17 会報部会
- 19 会計部会
- 20 企画調整部会
- 26 企画委員会

3月

- 4 会員増強プロジェクト会議
- 5 役員選考委員会・福利厚生部会
- 6 会報部会
- 11 生涯学習部会
- 12 正副会長会
- 13 会報部会
- 18 企画調整部会
- 19 企画委員会・企画委員会
- 20 会計部会

4月

- 26 総務部会
- 28 人材バンク
- 28 役員選考委員会

5月

- 1 支部長会
- 2 福利厚生部会・生涯学習部会
- 3 企画調整部会
- 8 正副会長会
- 9 総務部会
- 10 監査会
- 15 評議員会
- 22 福利厚生部会
- 24 運営委員会
- 13 第66回総会（東京ガーデンパレス）・会員研修会
- 28 教育フォーラム（東京ガーデンパレス）



東京都退職校長会会員の皆様へ

昭和51年4月に東京都退職校長会の会員の皆様の福利厚生の一環として団体契約を頂戴しております。会員ご本人様はもとより、ご家族、ご親戚の方々もご利用いただけます。

事前相談

どんなに些細と思われることでもお気軽に

ご葬儀

寝台自動車、火葬場式場、供花・枕花のお手配

ご法事、葬儀後のお手続き

家族葬から音楽葬など、あらゆるご葬儀を承っております。年中無休・24時間体制、どのようなことでもご相談ください。

フリーダイヤル ☎0120-849544 をご利用ください。



株式会社

東京都民互助会

東京都民互助会

検索

http://www.tomin-gojyo.co.jp

〒167-0042 東京都杉並区西荻北5-1-8 TEL.03-3396-7231 FAX.03-3395-8874

(平成31年3月)

| 物故者                        |          | 氏名       |          | 年月日     | 支部名     | 校種       | 年齢       | 名簿頁      |
|----------------------------|----------|----------|----------|---------|---------|----------|----------|----------|
| 謹んでご逝去を悼み<br>ご冥福をお祈り申し上げます |          |          |          |         |         |          |          |          |
| 高木 四郎                      | 松本 浩三    | 島田 肇子    | 久保 喜一    | 大本 邦嘉   | 近藤 雅史   | 飯田 勤     | 町田多万夫    | 橋本 敏一    |
| 30・12・20                   | 30・12・15 | 30・12・11 | 30・12・11 | 30・12・7 | 30・12・6 | 30・12・3  | 30・10・5  | 30・9・21  |
| 大田高95                      | 大田小88    | 北小85     | 西多摩小85   | 足立中90   | 練馬小86   | 北多摩中89   | 埼玉小89    | 杉並中94    |
| 11                         | 12       | 24       | 75       | 35      | 34      | 64       | 98       | 20       |
| 伊藤 武雄                      | 加藤 泰司    | 三澤 正和    | 金沢 孝     | 八木又一郎   | 小宮山重貞   | 原 京一     | 両澤 清     | 島貫 榮一    |
| 31・2・22                    | 31・2・17  | 31・2・14  | 31・2・9   | 31・2・5  | 31・1・28 | 31・1・27  | 31・1・26  | 31・1・25  |
| 葛飾小93                      | 渋谷小91    | 大田小88    | 板橋高96    | 世田谷中83  | 町田小97   | 新宿小87    | 北多摩中83   | 千葉西小90   |
| 40                         | 18       | 11       | 29       | 16      | 50      | 3        | 65       | 89       |
| 宮下 澄夫                      | 中野目直明    | 長谷川壽男    | 今関 明正    | 長谷川壽男   | 宮下 澄夫   | 中野目直明    | 橋本 敏一    | 中野目直明    |
| 30・6・24                    | 30・9・20  | 30・6・17  | 30・5・23  | 30・6・17 | 30・6・17 | 30・9・20  | 30・9・21  | 30・9・20  |
| 練馬小89                      | 日南高89    | 地方小89    | 渋谷小94    | 地方小89   | 地方小89   | 日南高89    | 杉並中94    | 日南高89    |
| 31                         | 53       | 110      | 18       | 110     | 110     | 53       | 20       | 53       |
| 齋藤 雄三                      | 鈴木 正隆    | 田中 康雄    | 苗村 崇伶    | 新見 謙太   | 三井 良雄   | 横山 安宏    | 井出 一枝    | 井出 一枝    |
| 31・1・19                    | 31・1・22  | 31・1・9   | 31・1・6   | 31・1・5  | 31・1・1  | 30・12・30 | 30・12・26 | 30・12・26 |
| 足立小87                      | 埼玉小82    | 荒川小84    | 江東小76    | 千葉西小84  | 墨田小89   | 北小93     | 千葉北小92   | 千葉北小92   |
| 36                         | 97       | 26       | 6        | 89      | 5       | 24       | 92       | 92       |

物故者



応募コーナー

短歌

朝の陽に髪光らせて子どもらが  
 地面に映る影絵で遊ぶ  
 寒き校庭に吐く息白く陽を浴びて  
 ポール追いか行く子の影長く  
 子どもらの映す影姿長くなり  
 陽射し弱まり冬の気配満ち来る

中野支部 田中弘志

俳句

大舞台佳人揃ひて歌温し  
 飛花落花飾る会場すでに春  
 春を待つ宴盛り上ぐ絆かな  
 にこやかに語る友がき春隣

埼玉支部 東條康永

※本会新年会にての作です。

お詫びと訂正

平成三十年度名簿に誤りがありましたのでお詫びして訂正致します。

小田部規矩男 大田支部長  
 新クラブ長名は本号の案内  
 ページの通りです。

編集後記

平成最後の会報をお届けします。次号から、新元号のもとでの発行になります。

会員の大部分が平成に管理職として過ごされた方なので、平成には思い入ることと思います。新元号にはどういった感想をお持ちでしょうか。

204号には、次年度の定期総会の案内があります。

課題山積の退職校長会ですが、会の今後のためにも総会を成功させるべく、ご支援をお願いします。

その他、事業計画、クラブ活動、支部だより等大事なお知らせがあります。

支部だよりを拝見しますと、各支部共それぞれ工夫を凝らしてがんばっております。各支部共、会員の確保に苦勞されています。会員相互の連携を密にして、会を盛り上げてください。最後に、苗村副会長のご冥福をお祈りいたします。

(佐藤忠三)